

木材の高付加

安全・安心な内装材づくり

～ 空気質改善，難燃性などの機能を有する内装材の開発～

研究の背景・目的

島根県の”スギ材，ヒノキ材，コナラ材”は蓄積が増えてきて利用する時期を迎えています。

県内の木材加工事業体では，長年にわたり県産材を活かして住宅用の内装材となる板類の製造と販売が行われてきました。

しかし，マンションなどの増加にみられる生活様式の変化や代替製品の普及などにより，製造量と販売量は減少しています。

そこで，木材のもつ様々な特徴を活かした内装材の開発に取組み，”安全・安心な売れる内装材づくり”を目指して研究していきます。

安全・安心な売れる内装材

見た目

難燃性

空気

遮音

耐久性

低コスト

研究方法 主な研究項目と方法をそれぞれ説明します。



板類の死節・抜け節補修技術の開発

内装材用の板類に生じた死節・抜け節は美観が悪く商品価値を低下させます。そこで，美観を損なわない簡易な補修方法の検討，加工性や耐久性など性能評価を行います。



溝（スリット）加工した板類の製造と性能評価

板類の表面に複数の溝（スリット）を加工すると表面積が増え，新たな効果が期待できます。そこで，溝（スリット）加工方法の検討，空気質改善・抗菌効果や温熱・調湿特性などの性能評価を行います。



準不燃材料の開発

木材は”燃える”ため，建築物によっては使用が制限されたり，不燃材料・準不燃材料の使用が定められていたりしています。そこで，スギ材とヒノキ材を薬剤処理により燃えにくくした準不燃材料の開発を目指します。

研究の現場移転

「死節・抜け節の補修技術」，「溝（スリット）加工材の製造技術と性能」，「準不燃材料の製造技術」を確立し，用途（床，壁，天井等）や使用場所に合わせた内装材の高機能化を図ります。これらの技術情報は県内の木材加工事業体に普及し，住宅，マンション，公共施設（教育・医療施設等）への”県産材を利用した内装材”の利用拡大を目指します。



MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207 問い合わせ先 0854-76-3825

E-mail chusankan@pref.shimane.lg.jp

所属グループ 木材利用グループ

担当研究者 後藤 崇志（ごとう たかし）
中山 茂生（なかやま しげお）

試験研究課題名：県産材を利用した高機能性内装材の開発（研究期間：H21～23）